

西南日本と日本海南部の震源断層

佐藤 比呂志・石山達也・Claringbould, J.S.・加藤直子（東京大学地震研究所）

ポイント

- ・ 海域-陸域の反射法地震探査と既存の資料から、日本海南部の震源断層矩形モデルを作成
- ・ 断層のほとんどは、日本海形成期に形成、再活動を通じて現在に至る
- ・ 日本海南部のテクトニクスは、南海トラフなどのプレート境界の条件により支配される

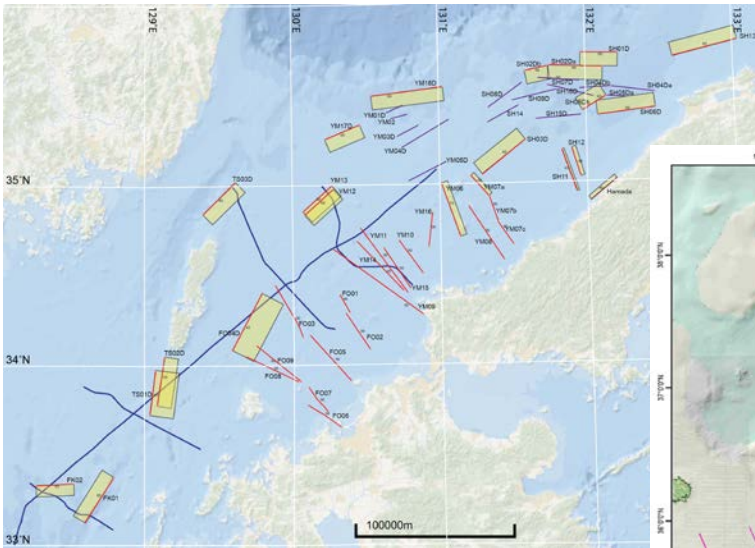


図 1 北九州-山陰沖の震源断層の矩形モデル (左). 赤実線: 断層面の先端、青実線: 探査測線.

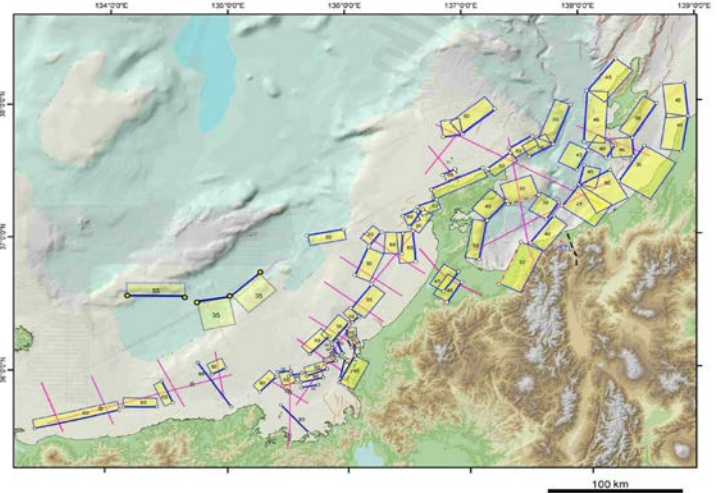


図 2 中越～鳥取沖の震源断層の矩形モデル (右). 青実線: 断層面の先端、紫実線: 探査測線.

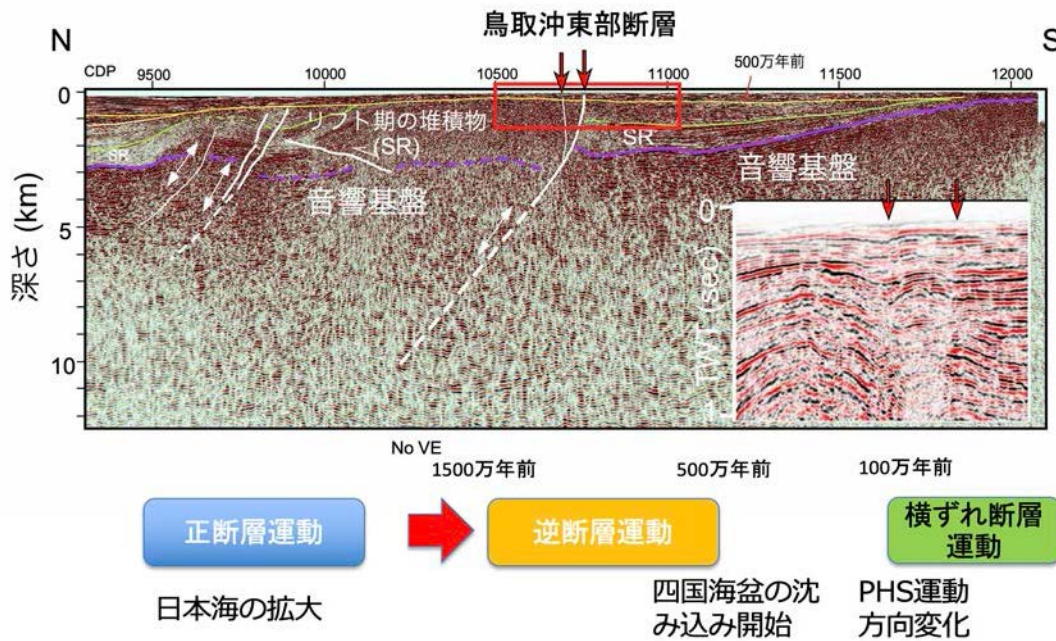


図 3. 倉吉沖の反射法地震探査断面と地質構造の形成プロセス。